

金沢城・兼六園 ガイドマップ

**加賀百万石
回遊ルートアプリ**
QRコードからインストール
お問合せ：石川県土木部公園緑地課

Google play App Store
QRコードからインストール
お問合せ：石川県土木部公園緑地課

**金沢城・兼六園
現地解説
金沢城ARアプリ**
QRコードからインストール
お問合せ：石川県金沢城調査研究所 kncastle@pref.shikawa.lg.jp

金沢城公園
兼六園

ご利用案内

開園時間
3/1~10/15 7:00~18:00
10/16~2/末日 8:00~17:00
※夜間開園（ライトアップ）
土曜日及び指定日 日没~21:00
（入園口 石川門、玉泉院丸口、鼠多門口）
※菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・
橋爪門、河北門、鼠多門
9:00~16:30（最終入館 16:00）
※玉泉庵
9:00~16:30（最終入室 16:00）
（12/29~1/3はお休みです）
※鶴の丸休憩館
3/1~10/15 9:00~18:00
10/16~2/末日 9:00~17:00

入館料・呈茶料
入園料：無料
※菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・
橋爪門
入館料：大人320円（団体250円）
小人100円（団体80円）
※団体は30人以上
※河北門・鼠多門
入館料：無料
※玉泉庵呈茶
抹茶800円（和菓子付）

開園時間
3/1~10/15 7:00~18:00
10/16~2/末日 8:00~17:00
※時雨亭
9:00~16:30（最終入亭 16:00）
（12/29~1/3はお休みです）
入園料：大人320円（団体250円）
小人100円（団体80円）
※団体は30人以上
※時雨亭呈茶
抹茶 800円（和菓子付）
煎茶 340円

見て歩きコース

◆金沢城（城内ルート）	◆兼六園
三御門コース <30分> （車イスお推めコース）	六勝コース <60分>
堪能コース <70分> （菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門の見学には 別途約30分がかかります）	平坦コース <30分> （車イスお推めコース）

●車椅子でご入園（館）
できます

●動物を連れての入園
は禁止です

●二輪車は入園禁止です

●1車イス駐車場は兼六園は伝統産業工芸館（〒976-262-2020）、金沢城公園は障害者用駐車場へ
※2兼六園のガイドお問い合わせ先 兼六園観光協会 ☎076-221-6453
金沢城公園ボランティアガイド受付（入口休憩所・玉泉庵・鶴の丸休憩館（予約不可））



案内所
お手洗い
多目的お手洗い
オストメイト対応

路線バス
タクシー
駐車場
駐輪場

カフェ・軽食
神社
コインロッカー
身障者用駐車場

AED
入園者出入口
重要文化財
車イス貸出
外周石垣等ライトアップ（22時まで）

0 50m 100m

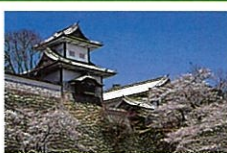
VEGETABLE
INK

金沢城公園の見どころ

兼六園の見どころ

石川門(重要文化財)

金沢城の搦手(裏口)門で、高麗門の
一の門、櫓門の二の門、続櫓と二層
二階建ての石川櫓で構成された枅形
門で、金沢城三御門のひとつです。
天明8年(1788年)に再建されまし
た。枅形内の石垣は右と左で技法
が異なり、右側は「切石積み」、左側
は「粗加工石積み」です。



三十間長屋(重要文化財)

二層二階の多間櫓で、安政5年(1858
年)に再建されました。倉庫として
使われた建物で長さは26間半です。
土台の石積みの技法は、「切石積み」
ですが、表面の縁取りだけをそろえ、
内側を粗く残す「金場取り残し積み」
という技法が用いられています。



河北門

〔平成22年4月復元〕

金沢城の実質的な正門で、高麗門の
一の門、櫓門の二の門、枅形土塀で
構成された枅形門です。石川門、橋
爪門とともに「金沢城三御門」と呼
ばれ、二の門は城内で最大規模を誇
ります。内部が一般公開(無料)され
ています。



橋爪門

〔平成27年3月復元〕

二の丸への正門として最も格式の
高い門で、高麗門の一の門、石垣と
二重塀で囲まれた枅形。櫓門の二の
門からなります。「金沢城三御門」
のひとつで、城内最大の枅形門です。
二の門内部は一般公開(有料)され
ています。



鼠多門・鼠多門橋

〔令和2年7月復元・完成〕

かつて城の一部だった金谷出丸(現
在の尾山神社)と玉泉院丸をつなぐ
門と橋です。鼠多門は二階建ての櫓
門で石垣を掘り込むように設けられ
ています。門内部は一般公開(無料)
されています。



鶴の丸休憩館

〔平成29年4月完成〕

金沢城の歴史や復元施設等の情報
を発信する機能を備えた休憩所だ
す。内部からは橋爪門続櫓などの城
郭建造物のパノラマを大判ガラス
越しに望むことができます。コーヒ
ーや軽食を提供するカフェがありま
す。



菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓 〔平成13年7月復元〕

二棟の三層三階の物見櫓「菱櫓」と
「橋爪門続櫓」を、二層二階の倉庫「五
十間長屋」でつないだ建築物です。
明治以降に建てられた木造城郭建
築物としては、国内最大規模です。内
部は一般公開(有料)されています。



鶴丸倉庫(重要文化財)

城郭内に残っているものとしては国
内最大級の土蔵です。武具が保管
されていました。幕末の1848年に
竣工し、明治以降は、陸軍によって
被服庫として使われていました。石
板を貼った外壁など、櫓や城門など
とはデザインを変えています。



旧第六旅団司令部

〔明治31年建造〕

木造瓦葺きのフランス様式を取り入
れた平屋建ての建物です。中央に
玄関があり、左右対称の外観です。
レンガ積みの基礎に、腰から軒まで
の外壁はモルタル塗り、上下に開閉
する窓が付いています。



玉泉院丸庭園

〔平成27年3月完成〕

2代藩主利長の没後、正室玉泉院(永
姫)が屋敷を構え、後に利常(3代)が
作庭を始め、廃藩時まで藩主の内庭
として存在していました。池泉回遊
式の庭園で江戸後期の姿を再現して
います。池のほとりには庭園を一望
できる玉泉庵があります。



金沢城の石垣

金沢城は「石垣の博物館」とも言わ
れ、多種多様な石垣が現存してい
ます。城の周りには野趣に富む高石
垣、藩主の御殿や庭園周りにはデ
ザイン感覚にあふれる石垣群を築く
など、場所によって石垣様式を使い
分けています。



東の丸北面石垣

玉泉庵

〔平成27年3月完成〕

江戸時代に露地役所(庭の整備管理
に関する役所)があった場所に庭園を
一望できる休憩所として、完成しま
した。施設では休憩機能だけでなく、
案内所や本格的な茶室を備えてい
ます。



庭を眺めながら、それぞれオリジナルの上生菓子と抹茶が堪能できます(有料)。上生菓子は2か月ごとに替わります。

徽軫灯笼

徽軫灯笼は足が二股になっていて、琴
の糸を支える琴柱に似ているのでその名が
ついたといわれています。この灯笼は水
面を照らすための雪見灯笼が変化したもの
で、高さは2.67メートル。曲水に架か
る虹橋と一体となって優れた風景を醸し
出しています。



雁行橋

11枚の赤土室石を使用し、雁が夕空に
列をなして飛んでいく様をかたどった「雁
行橋」。石の1枚1枚が亀の甲の形をし
ていることから「亀甲橋」ともいわれ、こ
の橋を渡ると長生きするとされてきまし
たが、現在は石の磨耗が著しいため、通
行できなくなっています。



花見橋

擬宝珠の欄干がある木橋。橋から見る花
の眺めがすばらしいことから、この名前
が付けました。花の季節になると、穏や
かに流れる曲水に沿って、桜、カキツバ
タ、ツツジなどが咲き誇り、多くの
人を魅了します。夏の緑陰、秋の紅葉、冬の
雪景も見逃せません。



梅林

昭和43年、明治百年記念事業として、北
野天満宮、大宰府や湯島天神、水戸偕楽園
などの協力により、全国の名梅を集めて造
成されました。その後、平成12年度に長
谷池周辺の庭園整備を終え、現在約20種
類、約200本の梅が植えられており、3月
になると紅白の花が美しく咲き誇ります。



唐崎松

13代藩主・斉泰が近江八景の一つ、琵琶
湖畔の唐崎から松の種子を取り寄せて育
てた黒松。兼六園の中で最も枝ぶりの見
事な木です。雪の重みによる枝折れを防
ぐため、冬にほどこされる雪吊りは他の庭
園では見られない、兼六園ならではの風
物詩です。



根上松

大小40数本の根が地上2メートルにまで
せり上がった奇観はたいへんな迫力で、兼
六園名物の一つとなっています。この松は、13
代藩主・斉泰が、松の根が地表近くに成長す
る性質を利用して土を盛り上げて若松を植え、
根を深く土で覆い、成長後に土をのぞいて根
をあらわにしたものだといわれています。



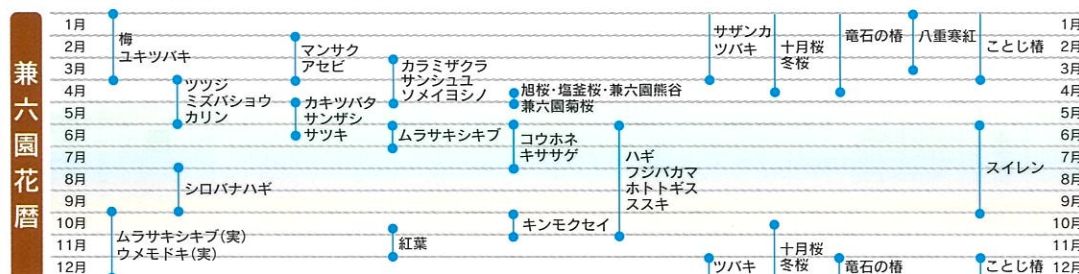
山崎山

カエデ、トチノキなど落葉広葉樹が多く
植えられており、秋になると赤や黄に美し
く色づくので「紅葉山」とも呼ばれます。
山腹には白川御影石で作られた五重の塔
(御室の塔)があり、また、山麓の岩間から
流れ出る水は、約570メートルの曲水と
なって霞ヶ池に注いでいます。



噴水

霞ヶ池を水源とし、池の水面との高低差
による自然の水圧であがっています。水
の高さは霞ヶ池の水位によって変わりますが、
概ね3.5メートルです。藩政末期、
金沢城内の二の丸に水を引くため試作さ
れたものと伝えられており、日本で最古
の噴水といわれています。



時雨亭

〔平成12年3月完成〕

時雨亭は、5代藩主綱紀が建てた蓮池御
亭が起源とされています。6代藩主吉徳
が御亭を建て替え、藩政後期には時雨亭
とも呼ばれるようになりました。現在の
時雨亭は、当時の平面図をもとに現在の
位置に再現した建物です。



問い合わせ先

石川県金沢市丸の内 1-1 (〒920-0937)
石川県金沢城・兼六園管理事務所
TEL 076-234-3800 FAX 076-234-5292

※詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/>

